

早稲田大学校歌

坪内逍遙 校閲／相馬御風 作詞／東儀鉄笛 作曲

一.
 都の西北 早稲田の森に
 聳ゆる葺は われらが母校
 われらが日ごろの 抱負を知るや
 進取の精神 学の独立
 現世を忘れぬ 久遠の理想
 かがやくわれらが 行手を見よや
 わせだ わせだ わせだ わせだ
 わせだ わせだ わせだ

二.
 東西古今の 文化のうしほ
 一つに渦巻く 大島国の
 大なる使命を 担ひて立てる
 われらが行手は 窮り知らず
 やがても久遠の 理想の影は
 あまねく天下に 輝き布かん
 わせだ わせだ わせだ わせだ
 わせだ わせだ わせだ

三.
 あれ見よかしこの 常磐の森は
 心のふるさと われらが母校
 集り散じて 人は変れど
 仰ぐは同じき 理想の光
 いざ声そろへて 空もとどろに
 われらが母校の 名をばたたへん
 わせだ わせだ わせだ わせだ
 わせだ わせだ わせだ

創立 25 周年に制定された校歌

早稲田大学校歌、通称「都の西北」は創立 25 周年の節目の年に制定されました。当時、文学部を卒業したばかりだったものの、すでにその詩才に定評があった相馬御風が作詞を委嘱され、当時の学長高田早苗、校歌制定担当であった坪内逍遙や島村抱月と共に案を練りました。作曲は東儀鉄笛が担当し、英米諸国の大学の校歌からヒントを得て完成させました。制定当時は毎日校庭に学生を集め、作曲家東儀自身による校歌の指導が行われていたそうです。



早稲田の正門入りすぐ左側にある「早稲田大学校歌」の碑

早稲田大学応援歌・学生歌

紺碧の空

住 治男 作詞／古関裕而 作曲

一.
 紺碧の空 仰ぐ日輪
 光輝あまねき 伝統のもと
 すぐりし精鋭 闘志は燃えて
 理想の王座を占むる者 われ等
 早稲田 早稲田
 覇者 覇者 早稲田

二.
 青春の時 望む栄光
 威力敵無き 精華の誇
 見よこの陣頭 歓喜あふれて
 理想の王座を占むる者 われ等
 早稲田 早稲田
 覇者 覇者 早稲田

早稲田の栄光

岩崎 巖 作詞 西条八十 補／芥川也寸志 作曲／JASRAC 出 1611213-702

一.
 栄光はみどりの風に
 花ひらく若き日の歌
 重ね来し歴史 尊く
 承け継ぎて輝く早稲田
 早稲田 早稲田 我等の早稲田

三.
 昂然と高張る胸に
 伝統の息吹通いて
 翻えす校旗の紅に
 感激の血潮は沸る
 早稲田 早稲田 我等の早稲田

二.
 ふり仰ぐ時計の塔に
 青春の眸は澄みて
 雲と湧く文化の理想
 担い立つ我等たくまし
 早稲田 早稲田 我等の早稲田

四.
 先哲の面影偲ぶ
 なつかしき真理の杜を
 彩るは七色の虹
 とこしえに輝く早稲田
 早稲田 早稲田 我等の早稲田